



EEHE PHOTOLETTER



ヤンゴン工科大学 教員研修: 研究活動の強化

2019年5月YTU/MTUの教員は、支援大学教員およびアカデミックアドバイザーによる教員研修に参加した。教育・研究活動の強化促進を目的に、日本人教員から実践的な研究手法を学び得た。



研究実験: 支援大学教員およびアカデミックアドバイザーは実演を取り入れYTU/MTU教員の研究指導に取り組んだ。電力ではプラズマに関する実験を行い、実験装置の配線・組み立てから備品の調達まで丁寧に指導した。メカトロでは新しい移動ロボット技術を説明し、基本機構の製作とその制御を指導した。アドバイザーは共同研究の発展に注力し、様々な機械運動の要素技術とそれぞれの特徴を活かした装置や干渉計を利用した研究実験において実験装置の組み立てや電気信号の調整方法について指導した。

研究とは何か？

- 研究は挑戦。「今まで誰も知らない事実を証明して見せること」(岡田アドバイザー)。誰も知らない事実は容易に見つかるものではない。研究は「原理に基づき実験を重ね考察を深めることの繰り返し」(佐々木アドバイザー)。研究課題は「現場で見つけるもの。考察は共同研究者や産業界のプロフェッショナルと議論を重ね深めていくもの」(小池アドバイザー)。また文献レビューは「誰も知らない事実」が未だ証明されていないことを学習する過程にすぎず、「学習と研究は同じではない」。教員研修や共同研究を通じて、ミャンマー人研究者を育成する取り組みは続く。

